

無線綴じ本の修理

～三つ目綴じによる方法～



無線綴じの本のページがバラバラ外れてきた場合の修理方法は様々なものがあります。ここでは、ノド部の余白が15mm程度以上ある本を三つ目綴じでなおす方法を紹介いたします。

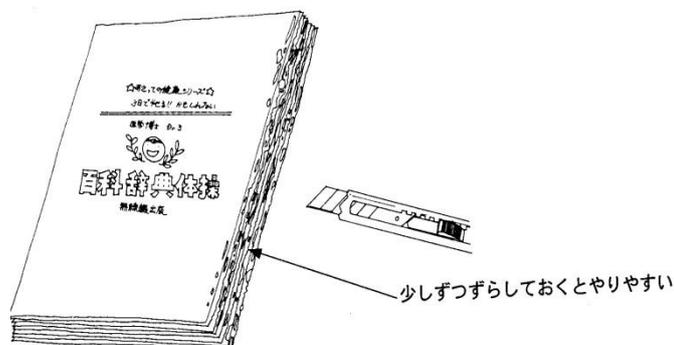
ノド部分の余白がない資料の場合は「無線綴じ本の修理～鋸目による方法～」もしくは「無線綴じ本の修理～ホットメルトによる方法～」をご参照ください。

手順 ～その1～

1、表紙の背から中身のページを外して、一枚ずつバラバラにする

2、接着剤を除去する

外したページに付着している接着剤の滓をきれいに削ぎ落とす。



3、仮固めする

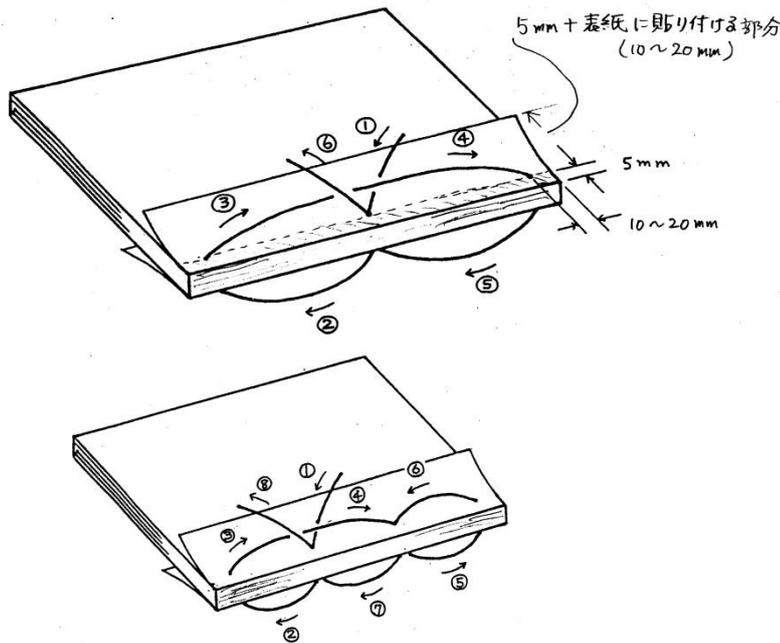
ページを揃えて板やボール紙で挟み、背の部分に糊をつけ、ページがバラバラにならないよう軽く固める。

4、ハネを貼る

裏打ちキャラコ（あるいは6 匁程度の和紙）を表と裏のページに貼る。のりしろは背側5 mm程度。

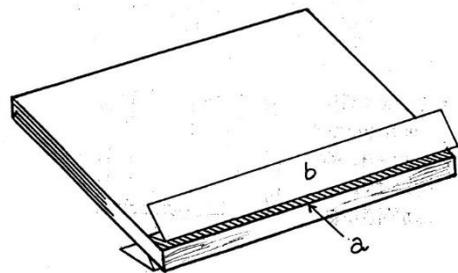
5、糸で綴じる

A 5、B 6 判ぐらいは三つ目綴じでよいが、A 4、B 5 判ぐらいになると四つ目綴じにした方がよい。



6、ハネを折る

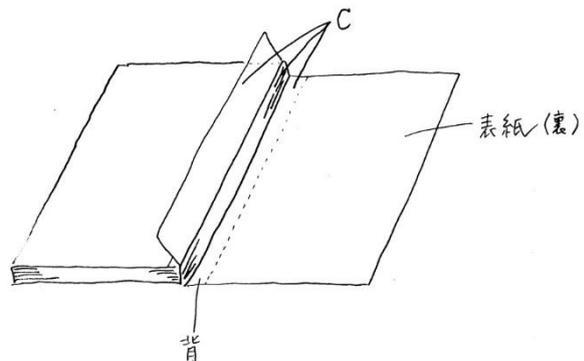
裏打ちキャラコ（あるいは6 匁程度の和紙）を、のりしろから折り返し、下図の a 部分を糊付けし、さらに図のように折り曲げておく。



7、表紙と中身を合体させる

図の b 部分に糊を塗り、表紙に付ける。
(表表紙から付けるようにした方がよい)

次に、ひっくり返して、下図の C 部分に糊を塗り、表紙を被せて貼る。



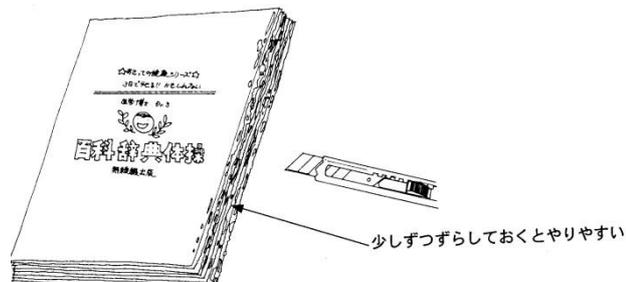
手順 ～その2～

この方法は上記「その1」を簡単にしたものである。「その1」に比べて強度が若干劣る。

1、表紙の背から中身のページを外して、一枚ずつバラバラにする

2、接着剤を除去する

外したページに付着している接着剤の滓をきれいに削ぎ落とす。

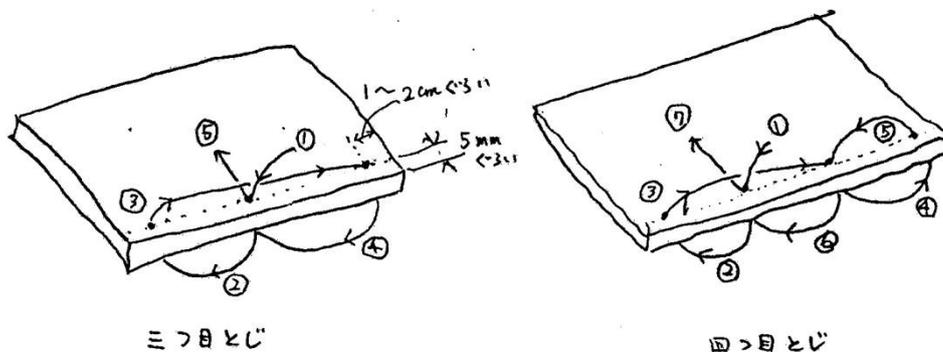


3、一番最初（上）のページと最後（下）のページを別にしておく

4、残りの部分を仮固めする

5、糸で綴じる

④を三つ目綴じる。A 5、B 6判ぐらいは三つ目でよいが、A 4、B 5判ぐらいになると四つ目にした方がよい。

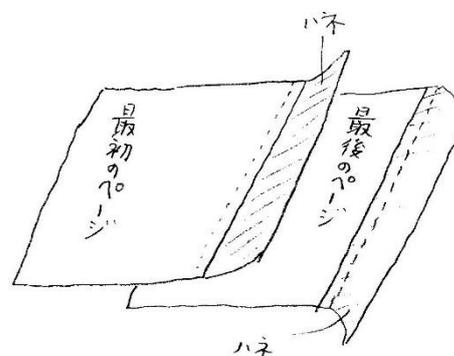


6、ハネをつける

③で別置しておいたページに、足を付ける要領で裏打ちキャラコ（あるいは6匁程度の和紙）を貼る。

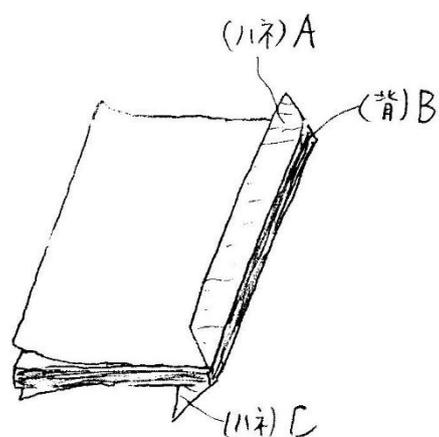
のりしろは5mm程度。また、足となる部分（ハネ）の部分は10～20ミリ程度。この部分は表紙の裏側に貼り付けるので寸法はそのことを考慮して決めることになる。

裏から巻くように貼ると丈夫になる。



7、⑥の2枚を、見返しのように⑤の本体に貼る

のりしろは⑤の綴じ糸が隠れる5ミリ程度。



8、表紙と中身を合体させる

図のA部分に糊を塗り、表紙に付ける。(表表紙から付けるようにした方がよい)

次に、ひっくり返して、下図のB・C・D部分に糊を塗り、表紙を被せて貼る。

